

第3学年2組 学級活動（3）学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 題材「自分再発見～社会の中で、自分の役割を果たしながら自分らしく生きるために～」

2 学習の構想

【このような生徒だから】

本学級の生徒達は元気がよく、コロナ禍で活動が制限された中でも学校行事や日々の生活に積極的に取り組んできた。一方で、5月に実施したQ-U調査によれば、「自分の将来に夢や希望を持っている」の項目で30%以上の生徒が「どちらとも言えない」「そう思わない」と答えており、自信を持っていない様子も見ることができる。

また、事前アンケートによると、進学希望については記述しているものの、本当にこの進学先でよいのか不安に感じていたり、将来のなりたい自分の姿について具体的なイメージを持っていない生徒が50%以上いることがわかった。

さらに、現在の自分の学習や生活の状況について、不安を感じている生徒は半数以上であり、自信を持って学校生活を送れている生徒は大変少ないことがわかった。

以上のことから、希望している進学先と自分自身の現在の姿や将来目指す姿とが繋がっていないのが現状であると捉えた。

【このような内容を】

学級活動（3）「一人一人のキャリア形成と自己実現」に示された指導事項のうち、「ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館などの活用」に関する内容である。

この内容は、個々の生徒の将来に向けた自己実現に関わるものであり、一人一人の主体的な意思決定に基づく実践活動にまでつなげることをねらいとしている。また、学校における個々の学習が、それぞれキャリア教育にどのように繋がっていくのかということや、なぜ学ぶのかといった学ぶことの本質的な意義に気付き、個々の生徒の学習意欲が高まり、主体的に学習が進められるようにするものである。

【このような指導で】

一次では、現在の学習と将来の自己実現のつながり（自己と社会の関わり）について考えさせるために、職業人講話を実施する。

二次、三次では、現在自分達が抱えている疑問や不安を解消したり、卒業後の自分達の姿をイメージしたりするために、卒業した先輩へのインタビュー活動を行う。インタビュー内容を手掛かりに、なりたい自分について考えさせる。またこの時、1年後になりたい自分の姿という視点を加えることで、将来像についてイメージしやすくする。

四次では、望ましい行動の強化や、行動の修正、改善を考えさせるために、前時で設定した努力目標が今の時点でどの程度達成できているのか振り返らせる。

【このような視点を意識して】

◎自分のよさを理解し、個性を發揮しながらものごとに取り組もうとする **＜B自己理解・自己管理能力＞**

【このような生徒に】

＜題材の目標＞

知識及び技能	社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義や、現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けることができる。
思考力、判断力、表現力等	現在の自己の学習や生活を振り返り、課題を見出したり、将来の生き方や進路と関連付けたりしながら、自己の将来について、適切な情報を得ながら考え、目標を設定したり、自己の将来像を描いたりすることができる。
学びに向かう力、人間性等	将来の生き方を描き、現在の生活や学習のあり方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。

3 題材計画（全5時間）

A…人間関係形成・社会形成能力 B…自己理解・自己管理能力 C…課題対応能力 D…キャリアプランニング能力

次	時	主な学習活動	指導上の留意点（○），評価規準と方法（◇）	視点
一	1	職業人の方から話を聞き，将来の生き方や学習の意味について考える。	○ 現在の学習と将来の自己実現のつながりについて考えさせるために，職業人の話を聞き，自己と社会の関わりについて知る。 ◇ 職業人の話から自己の将来の生き方や現在の学習の意義について考えたことを記述することができている。【知識・技能】《ワークシート》	A
二	1	自分を見つめ直し，これからの自分を考える。	○ 現在の状況を更に改善するためにこれまでの生活や学習を振り返り，現在の悩みや課題について考える。 ◇ 自己の現状について適切に分析し，今の時点でできていないことや改善できること，不安な点を記述することができている。 【思考・判断・表現】《ワークシート》	B
三	1	先輩へのインタビューを考える。	○ 現在不安に感じていることを解消し，卒業後の自分の姿をイメージするきっかけとするために，事前アンケートや前時で振り返った内容をもとに卒業した先輩に対しインタビューを行う。 ◇ 現在の自分自身を振り返りながら，先輩への質問事項を適切に考えることができる。 【思考・判断・表現】《ワークシート》	B C
	1 （本時）	先輩のインタビューを見て，1年後になりたい自分の姿について考える。	○ 現在の生活や学習となりた自分との繋がりを考えさせるために，インタビュー動画を参考にしながら，具体的な「1年後になりたい自分」の姿と，目標達成のための現在の努力目標を考えさせる。 ◇ なりた自分の姿を具体的に記述し，将来像に関連した努力目標を適切に設定できている。 【思考・判断・表現】《ワークシート》	B
四	1	2学期を振り返り，これからの行動を考える。	○ 望ましい行動の強化や，行動の修正，改善を考えさせるために，前時で設定した努力目標が今の時点でどの程度達成できているのか振り返る活動を設定する。 ◇ 2学期の行動を振り返り，よりよい今後の行動について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 《キャリア・パスポート》	B C

4 本時 令和3年11月18日（木） 13：50～14：40 於：3年2組教室

（1）本時のねらい

身近な先輩（卒業生）へのインタビューを通して，「なりた自分」を軸とした，1年後の自分について考えることができるようにする。

（2）本時で意識するキャリア教育の視点

意識する能力	意識する視点の具体
B 自己理解・自己管理能力	○ 他者の経験や意見を基に，なりた自分やそのために今，すべきことについて深く考えることができる。

（3）準備 ワークシート，プロジェクター，パソコン，タブレット

(4) 展開

過程	学習活動・内容	指導上の留意点 (○) と評価規準 (◇) 意識するキャリア教育の視点 (◀▶) と手だて (◎)
導入	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○ 将来の自分の姿について考えることを確認するために、職業講話の内容を想起させる。 ○ なりたい自分の姿をより具体的にイメージするために、今回は通過点として1年後の姿に焦点を当てて考えることを伝える。</p>
展開	<div data-bbox="300 465 1353 519" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">先輩のインタビューを見て、1年後になりたい自分の姿について考えよう</div> <p>2 インタビュー動画を視聴し、先輩たちが「どんな目標を持って」「どのような事に努力している」か考える。 (1) 卒業生Aさんの動画を視聴する。 (2) 卒業生Bさんの動画を視聴する。 (3) 全体で意見を共有する。 ・Aさんは、小学校の先生になるために内気な自分を変えることを目標にしていた。 ・Bさんは将来、運動が得意なことを活かしたいと言っていた。 ・先輩たちは「どんな人になりたいか」を目標にしていた。</p>	<p>○ 動画の視聴を通して、将来への見通しを持った目標を持たせるために、「卒業した先輩たちは今どんなことを目標にしているのかな」と問いかけ、高校入学がゴールではなく、その先も目標に向けて努力する先輩の姿への気づきを促す。その際、動画を見る視点を伝える。</p> <div data-bbox="798 788 1412 990" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><u>動画を見る視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、どんな目標を持っているか ・今、どんなことを大切に生活しているか ・今、どんなことを努力しているのか ・その他に、気付いたこと </div>
終末	<p>3 1年後になりたい自分の姿とその理由について考える。 (1) ワークシートに記述する。 【生徒記述例】 ・誰とでもコミュニケーションを取れる自分(そのために)自分から挨拶(理由)A先輩の話聞いて、自分も夢に向かって、今苦手だと思っていることを克服したいと思った。 ・小さなことを大切に努力できる自分(そのために)朝学習や宿題にも一つ一つ丁寧に取り組む。(理由)B先輩の話聞いて、第一志望の高校にもし合格できなくても、自分の夢に向かって努力し続けることが大切だと思ったから。 (2) 全体で共有する。</p> <p>4 本時の学習を確認し、振り返る。 (1) 本時の内容を振り返る。 (2) ワークシートに振り返りを記述する。</p>	<p>◎ 現在考えている卒業後の進路を具体的な「なりたい自分」のイメージに繋げていくために、「皆さんは1年後どんな自分になっていたいですか」と問いかける。 ◀B 自己理解・自己管理能力▶ ○ 「1年後になりたい自分」を、更に現在の学習や生活の改善に繋げるために、「なりたい自分になるために、今どんなことを頑張りますか」と発問する。 ○ 将来の夢が決まっていない生徒も考えやすくするために、「自分のいい所をどう活かしたいですか」「こんな風になりたいと思うところはありますか」と声掛けをする。 ◇ 1年後になりたい自分の姿を具体的に記述することができる。 【思考・判断・表現】《ワークシート》 ○ 社会との関わりを意識させるために、人との関わりや、自分の役割について書かれている記述は特に紹介する。</p> <p>○ 生徒たちが今後も自信を持って卒業後の進路を目指していけるよう、肯定的なフィードバックを行うとともに、今回立てた目標を定期的に振り返っていくことを確認する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・先輩達も同じように悩んでいたのだとわかって安心した。焦らずにやるべきことを一つずつやっていきたい。 ・今までは合格だけを目指して勉強してきたけど、もっと先の目標について考えることができた。 ・自分も先輩のように自分の苦手を克服して、理想の自分に近付けるように頑張りたい。 		